

令和 4 年度路線バス動態調査について

1. 調査の目的

市内バス路線網の利便性向上を図ると同時に、利用者数の増加と収支の改善に向け、乗合旅客自動車運送事業の最適化を検討するため、基礎資料となるバス利用者の移動状況を把握する「路線バス動態調査」を実施しました。

2. 令和 4 年度路線バス動態調査の概要

(1) 路線バス利用者の移動状況の把握

① 調査概要

○ 調査の考え方

各路線バス利用者の移動状況（乗車バス停と降車バス停、移動目的等）を調査することで、各路線の旅客流動を把握することとしました。

○ 調査対象

- ・ (04) 石田三日市線
- ・ (05) 池尻線
- ・ 愛本コミュニティタクシー
- ・ デマンドタクシー（田家野-中山・前沢-宮野エリア及び、村椿-大布施・荻生エリア）

<参考>

令和 2 年度実施済

- ・ (01) 新幹線市街地線
- ・ (06) 南北循環線

令和 3 年度実施済

- ・ (02) 新幹線生地線
- ・ (03) 生地循環線

○ 調査方法

- ・ バス・タクシー車内で配布、郵送による回収

○ 調査日

- ・ 令和 4 年 11 月 7 日～25 日

○ 調査項目

- ・ 利用バス停（乗車、降車）
- ・ 出発地・目的地
- ・ 利用目的
- ・ その他

○ 各路線の回収数

	石田三日市線	池尻線	愛本コミュニティ タクシー	デマンドタクシー （田家野-中山・ 前沢-宮野エリア）	デマンドタクシー （村椿-大布施・ 荻生エリア）
回収数	35	16	18	14	14

○ その他

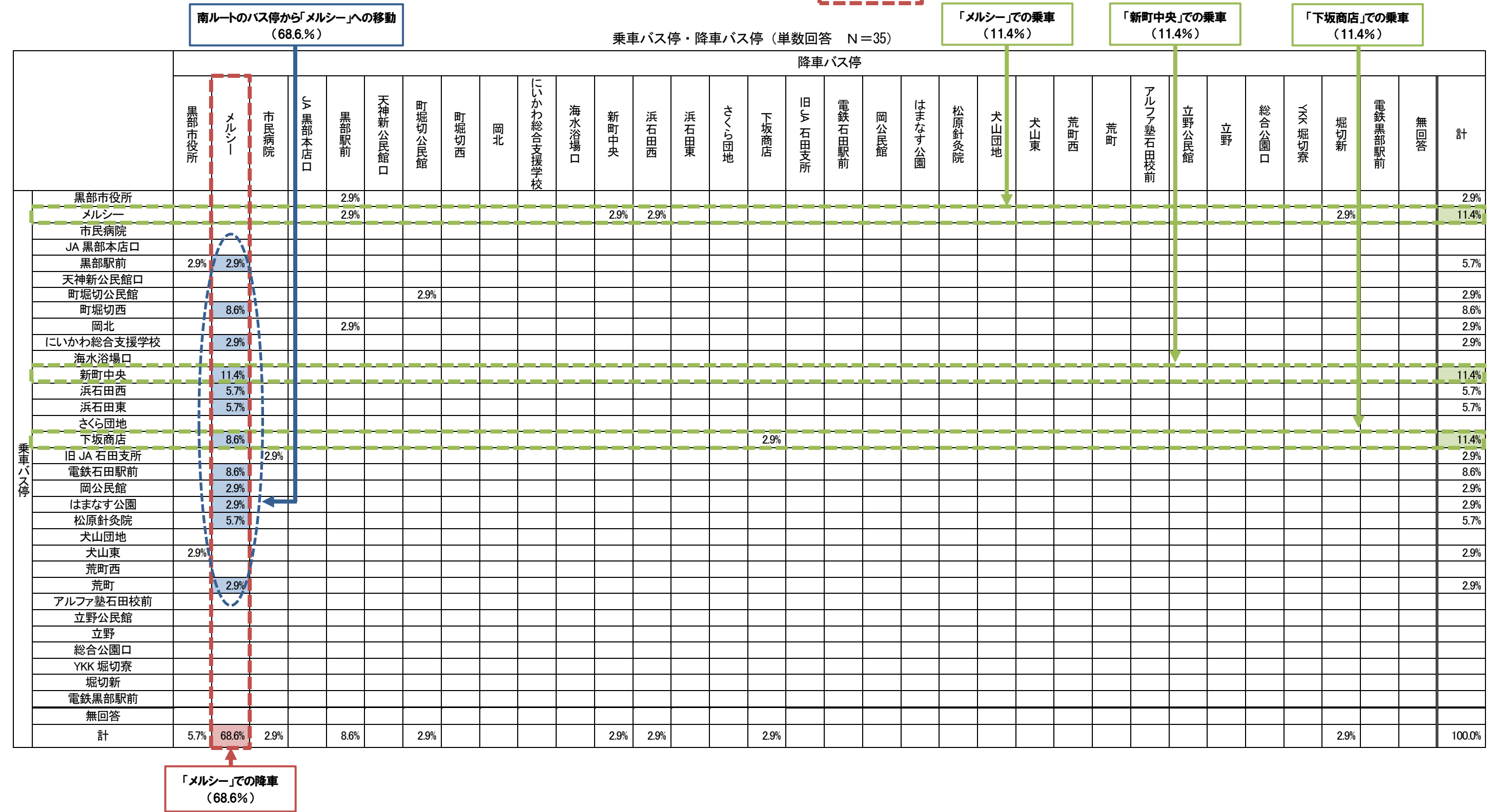
石田三日市線、池尻線及び愛本コミュニティタクシーについては、最近 2 か年の乗降データも整理しています。（第 37 回協議会で報告済です。）

② 調査結果

a) 石田三日市線

a-1 乗車バス停・降車バス停（単数回答）

- ・最も多い乗車バス停は、「メルシー（11.4%）」、「新町中央（11.4%）」、「下坂商店（11.4%）」となっています。
- ・最も多い降車バス停は、「メルシー（68.6%）」となっており、主に南ルートが通るバス停からの移動がみられます。



参考）石田三日市線の位置づけ

- ・石田地区と中心市街地を結ぶ“生活路線”として、石田地区を南北に分け、各エリア1日6便（計12便）を運行しています。

a-2 出発地・目的地（単数回答）

- ・出発地は自宅が最も多く、73.5%を占めています。
- ・目的地はメルシーが最も多く、その他では市役所などがみられます。

表 出発地・目的地（単数回答 N=35）

		目的地					
出発地	メルシーへの移動 (82.2%)	メルシー	メルシー、市民病院	メルシー、小泉医院、市役所	メルシー、市役所等	市役所	無回答
	自宅からの移動 (73.5%)						計
	自宅	55.9%	2.9%	2.9%	5.9%	5.9%	73.5%
	新町中央				2.9%		2.9%
	はまなす公園	2.9%					2.9%
	町堀切公民館	2.9%					2.9%
	浜石田西	5.9%					5.9%
	無回答						11.8%
	計	67.6%	2.9%	2.9%	8.8%	5.9%	100.0%

a-3 帰りの利用（複数回答）

- ・帰りのバスの利用状況では、「帰りも同じバス停を利用した」がほとんどを占めています。

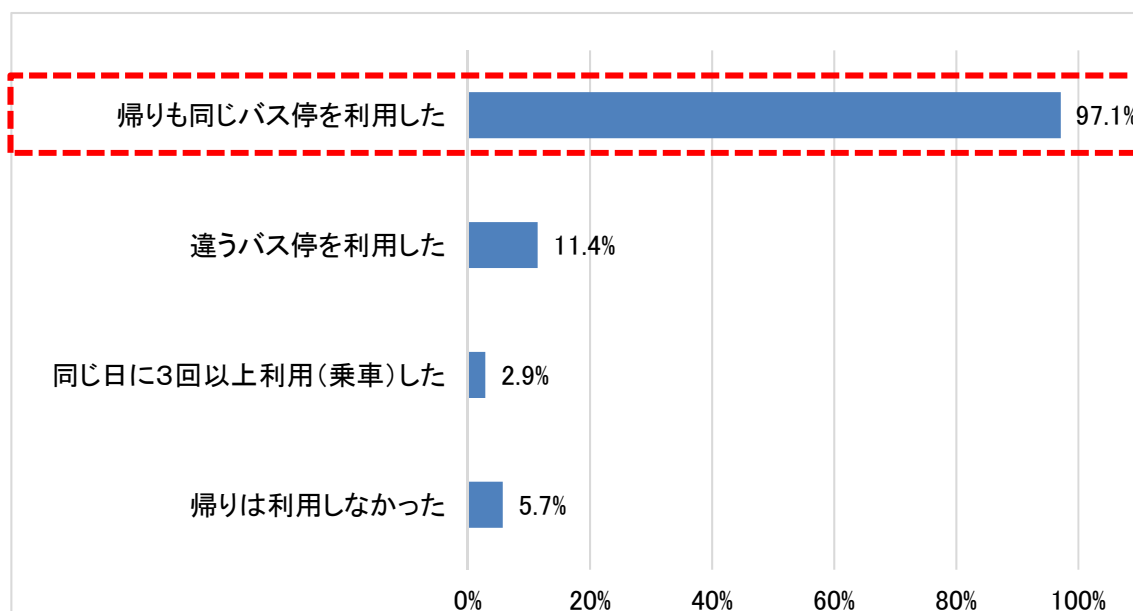


図 帰りの利用（複数回答 N=35）

a-4 利用目的（複数回答）

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）（85.7）」が最も多く、その後に「通院、通所（31.4%）」と「市役所や図書館等の公共施設（22.9%）」が続きます。

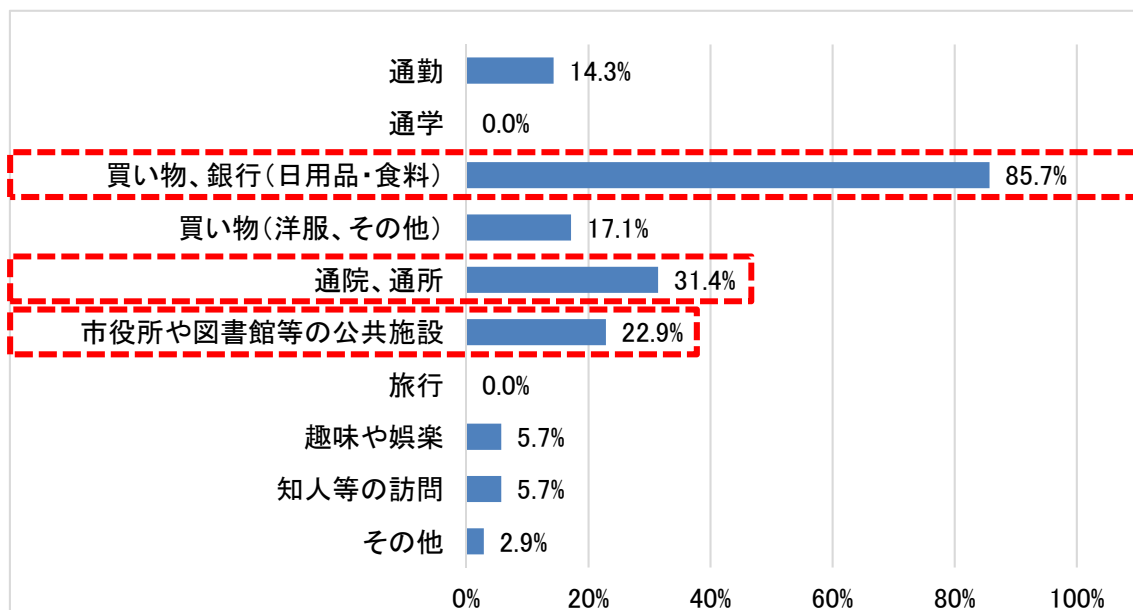


図 利用目的（複数回答 N=35）

a-5 利用目的別（買い物、銀行（日用品・食料）、通院、通所）の降車バス停

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）」、「通院、通所」どちらの目的でも「メルシー」での降車が最も多くなっています。

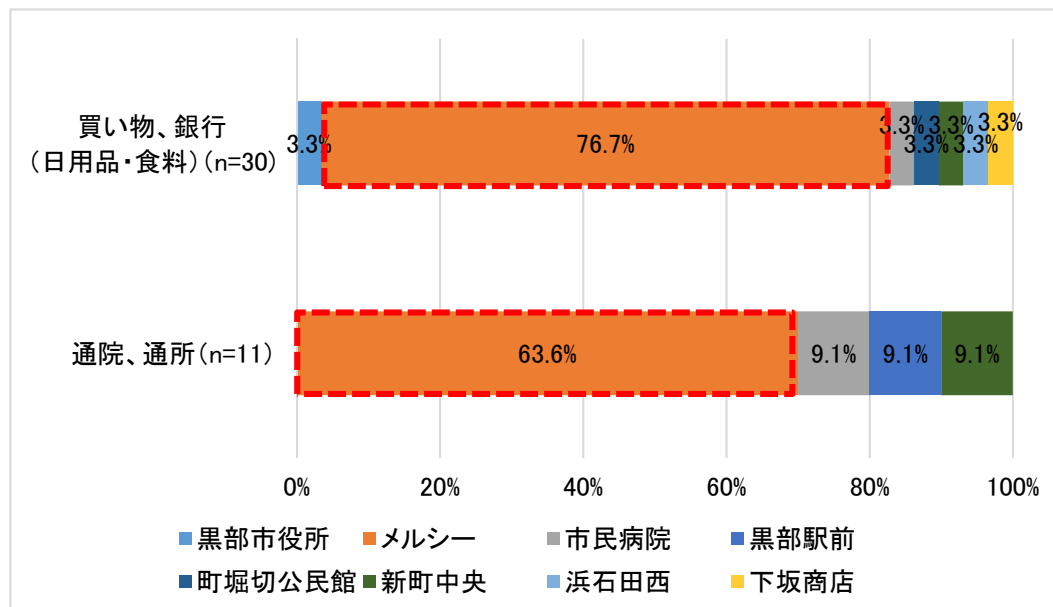


図 利用目的別の降車バス停

a-6 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答）

- ・「タクシー（37.1%）」が最も多く、その後に「富山地鉄電車（28.6%）」、「徒歩（28.6%）」、「車（家族等が運転）（25.7%）」が続きます。

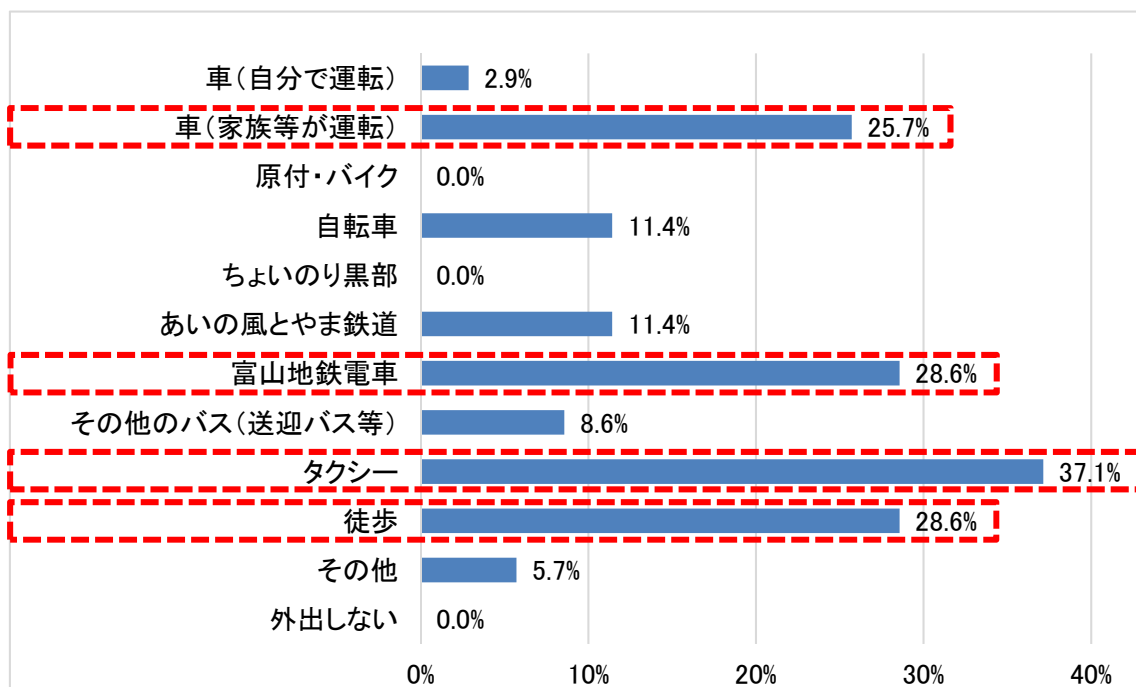


図 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答 N=35）

a-7 性別（単数回答）

- ・性別では「女性（60.0%）」が「男性（17.1%）」より多くなっています。

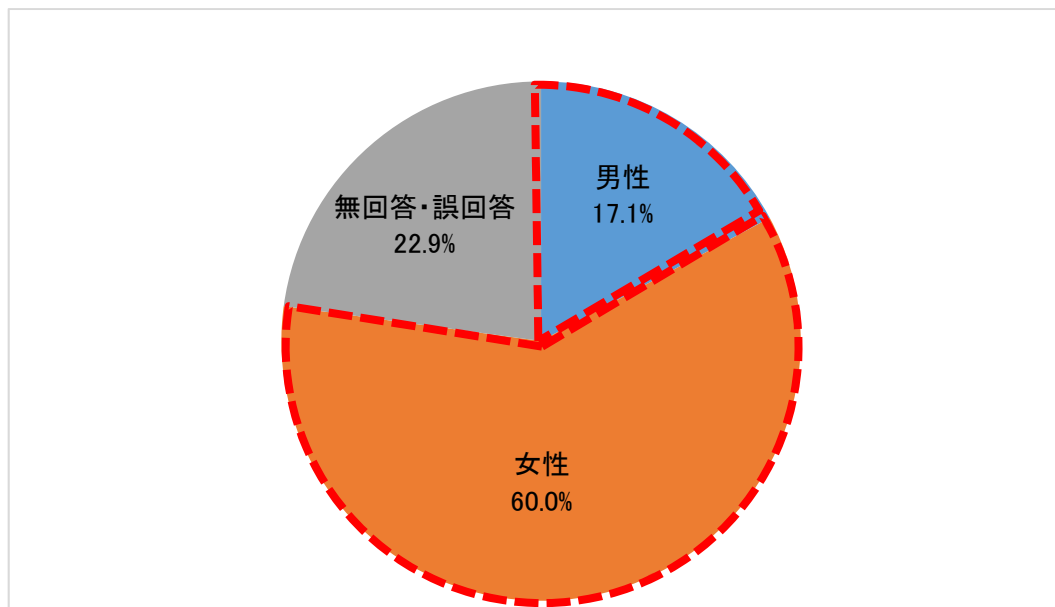


図 性別（単数回答 N=35）

a-8 年齢(単数回答)

- ・「80歳以上（42.9%）」が最も多く、その後に「70歳代（34.3%）」が続きます。

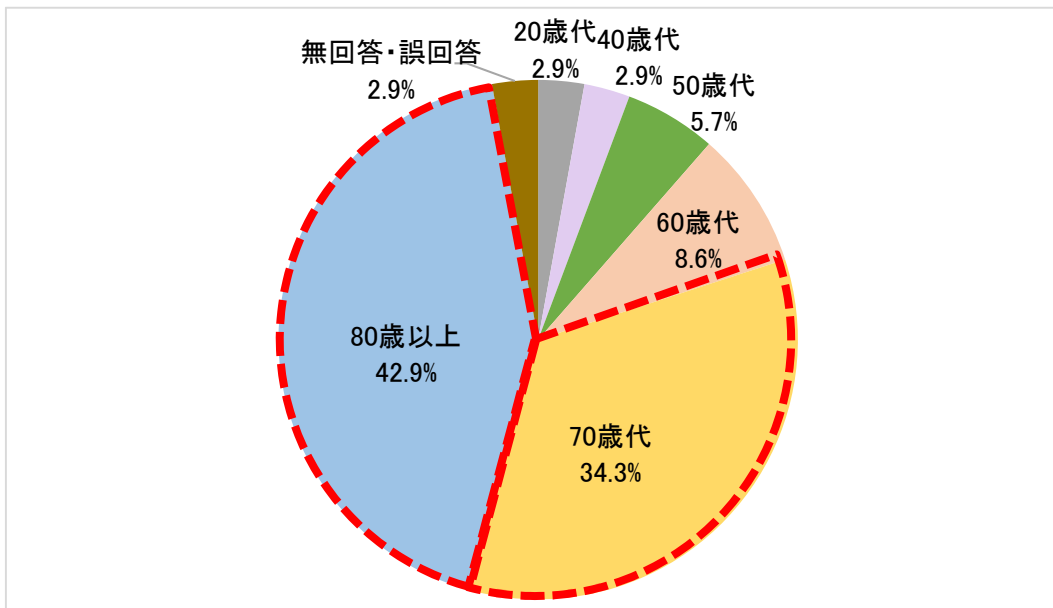


図 年齢 (単数回答 N=35)

【まとめ】

- ・アンケート結果から、石田三日市線については、70 歳以上の高齢女性がメルシーでの買い物や通院に多く利用していることから、石田地区と中心市街地を結ぶ“生活路線”としての役割を果たしていることが伺えます。
- ・その一方でバス停の利用に若干の偏りがあることから、今後、見直しを行う場合は、利用実績を踏まえたバス停の配置や沿線周辺の商業施設等へのアクセス等を検討する必要があります。
- ・また、石田三日市線を利用しない場合の代替移動手段については、主にタクシーや地鉄電車となっています。

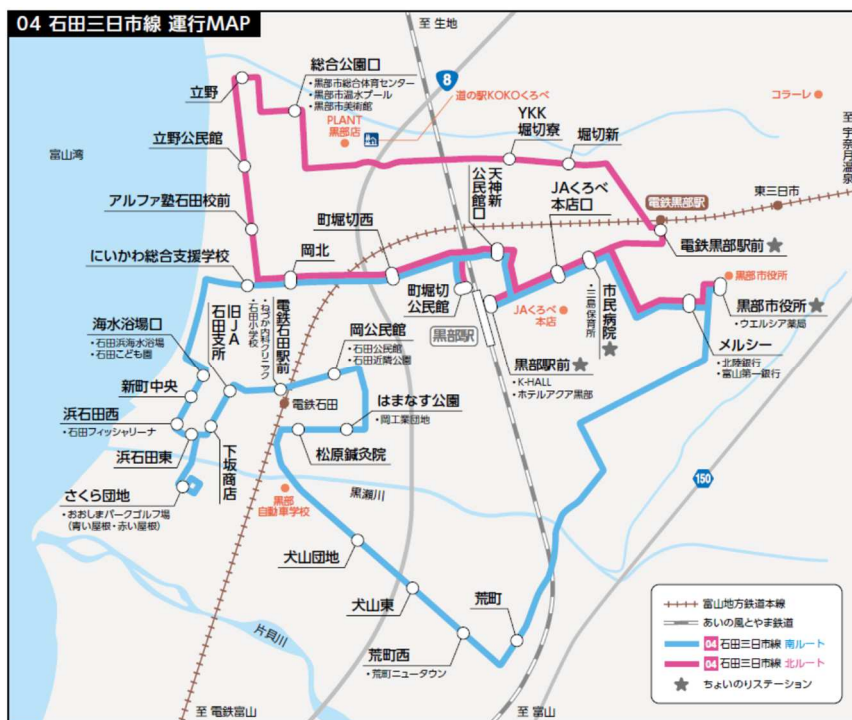
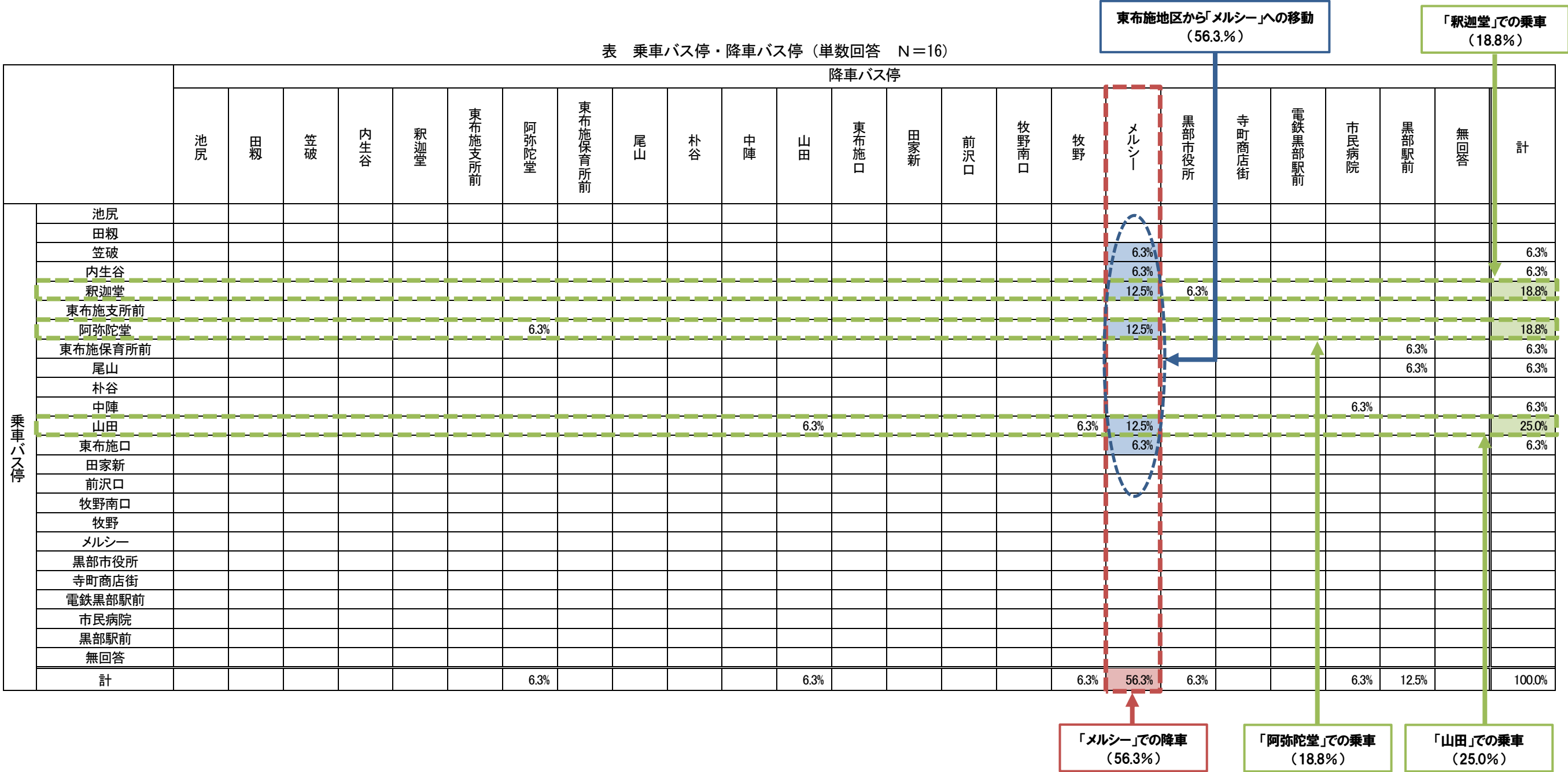


図 石田三日市線 路線図

b) 池尻線

b-1 乗車バス停・降車バス停（単数回答）

- ・最も多い乗車バス停は「山田（25.0%）」となり、その後に「釈迦堂（18.8%）」、「阿弥陀堂（18.8%）」が続きます。
- ・最も多い降車バス停は、「メルシー（56.3%）」となっており、主に東布施地区からの移動が多くみられます。



参考）池尻線の位置づけ

- ・東布施地区と中心市街地を結ぶ“生活路線”として運行しています。同地区には、鉄道駅、病院、商業施設、金融機関がなく、地域にとって重要な公共交通機関となっています。

b-2 出発地・目的地（単数回答）

- ・出発地は自宅が最も多く、75.0%を占めています。
- ・目的地はメルシーが最も多く、その他では市役所、医療機関、電鉄黒部駅がみられます。

表 出発地・目的地（単数回答 N=16）

		目的地									
		自宅	メルシー	メルシー、市役所 電鉄黒部駅前	市民病院、メルシー、市外等	市役所、市民病院、メルシー	黒部市民病院	大橋眼科	牧野、電鉄黒部駅	魚津市、三日市、富山	無回答
出発地	自宅	6.3%	25.0%		12.5%	6.3%	12.5%	6.3%	6.3%		75.0%
	魚津市、三日市									6.3%	6.3%
	無回答	6.3%	6.3%	6.3%							18.8%
	計	12.5%	31.3%	6.3%	12.5%	6.3%	12.5%	6.3%	6.3%	6.3%	100.0%

b-3 帰りの利用（複数回答）

- ・帰りのバスの利用状況では、「帰りも同じバス停を利用した」がほとんどを占めています。

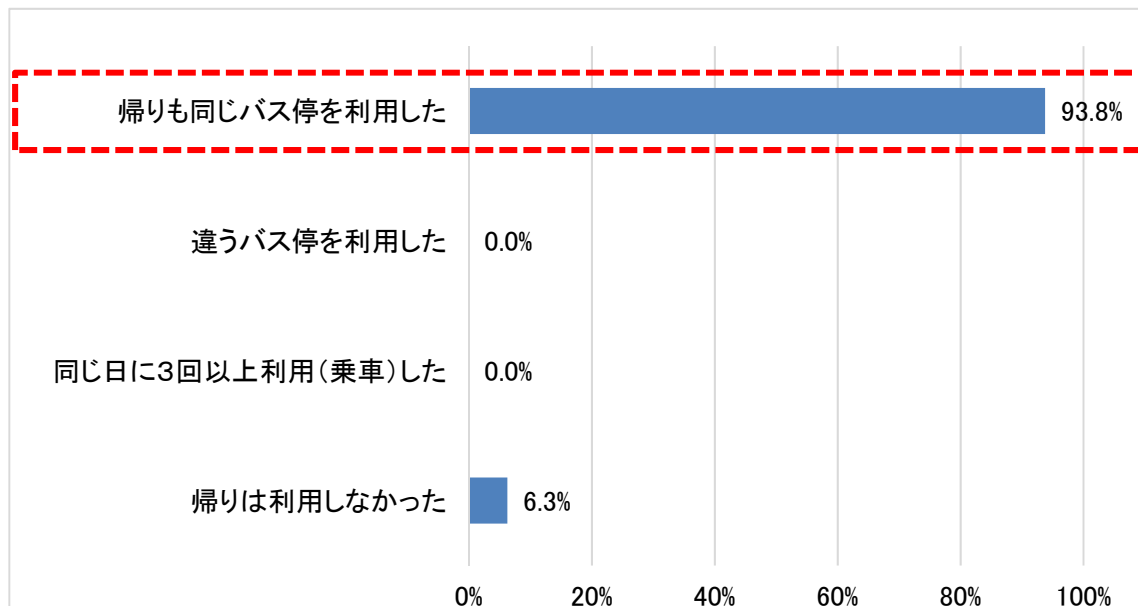


図 帰りの利用（複数回答 N=16）

b-4 利用目的（複数回答）

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）（75.0%）」が最も多く、その後に「通院・通所（62.5%）」、「市役所や図書館等の公共施設（31.3%）」、「買い物（洋服、その他）」が続きます。

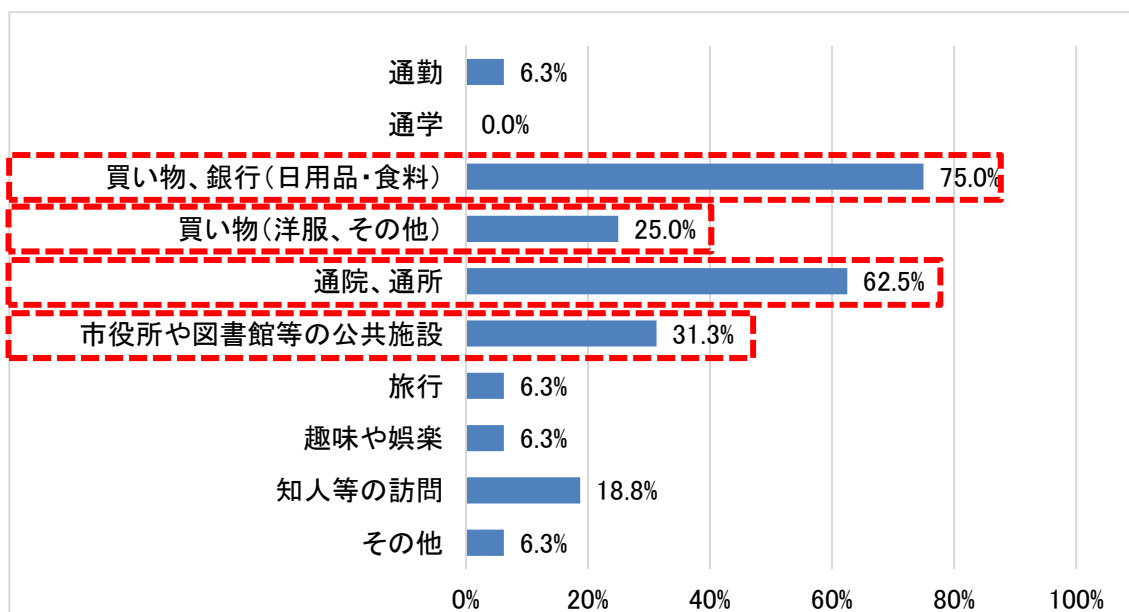


図 利用目的（複数回答 N=16）

b-5 利用目的別（買い物、銀行（日用品・食料）、通院、通所）の降車バス停

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）」、「通院、通所」どちらの目的でも「メルシー」での降車が最も多くなっています。

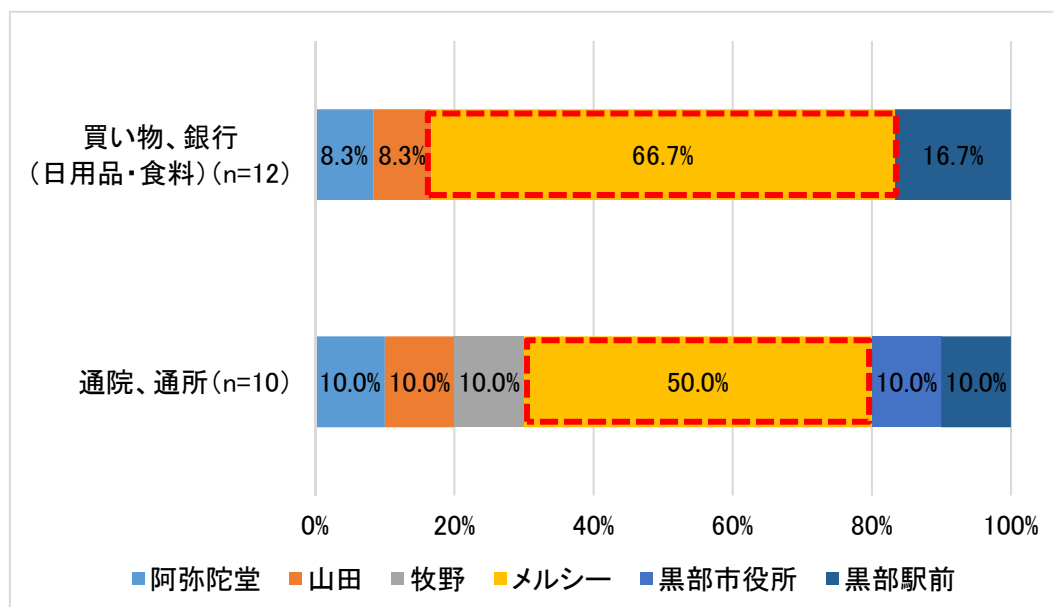


図 利用目的別の降車バス停

b-6 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答）

- ・「タクシー（56.3%）」が最も多く、その後に「車（家族等が運転）（31.3%）」、「富山地鉄電車（25.0%）」、「徒歩（25.0%）」が続きます。

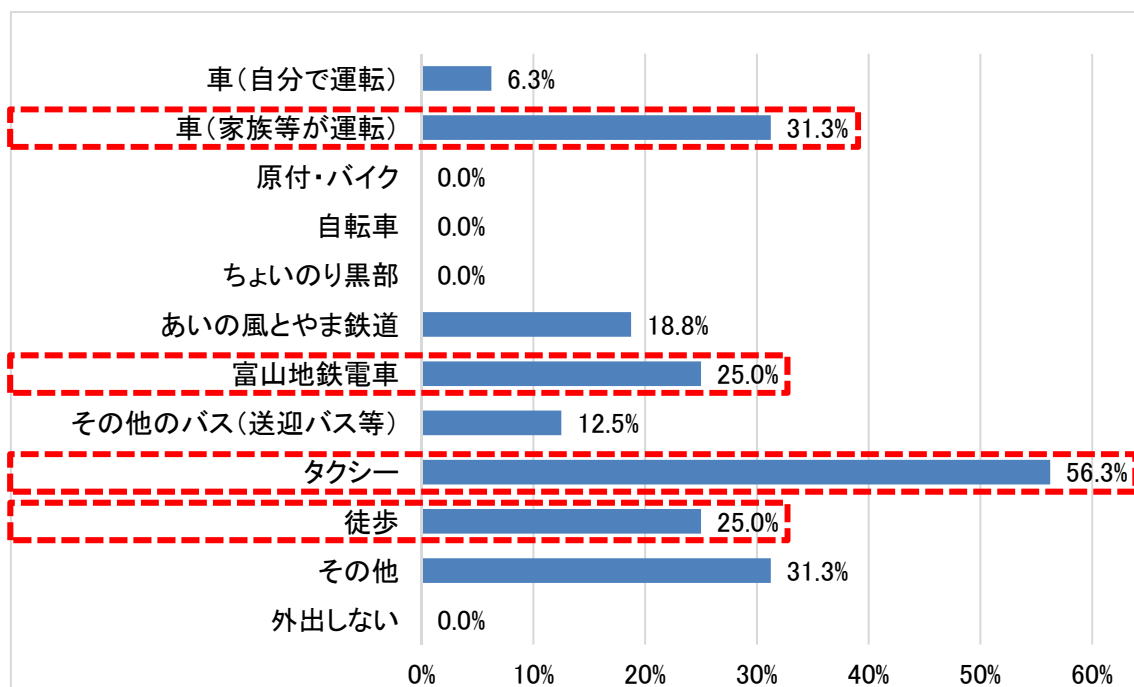


図 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答 N=16）

b-7 性別（単数回答）

- ・性別では「女性（56.3%）」が「男性（31.3%）」に比べ多くなっています。

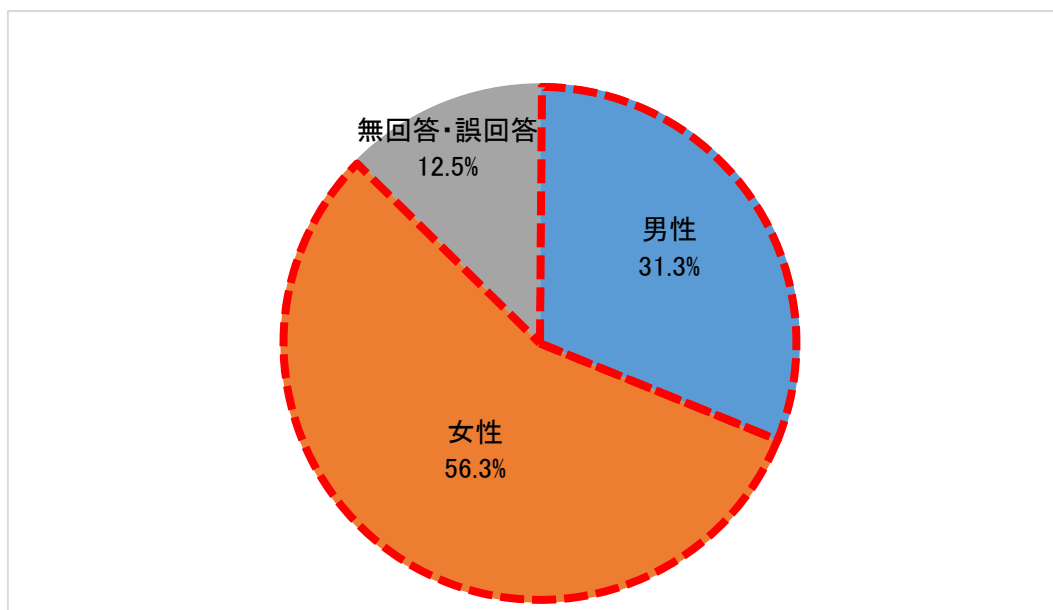


図 性別（単数回答 N=16）

b-8 年齢（単数回答）

- ・「70 歳代（50.0%）」が最も多く、その後に「80 歳以上（37.5%）」が続きます。
- ・なお、回答者全員が 60 歳以上となっています。

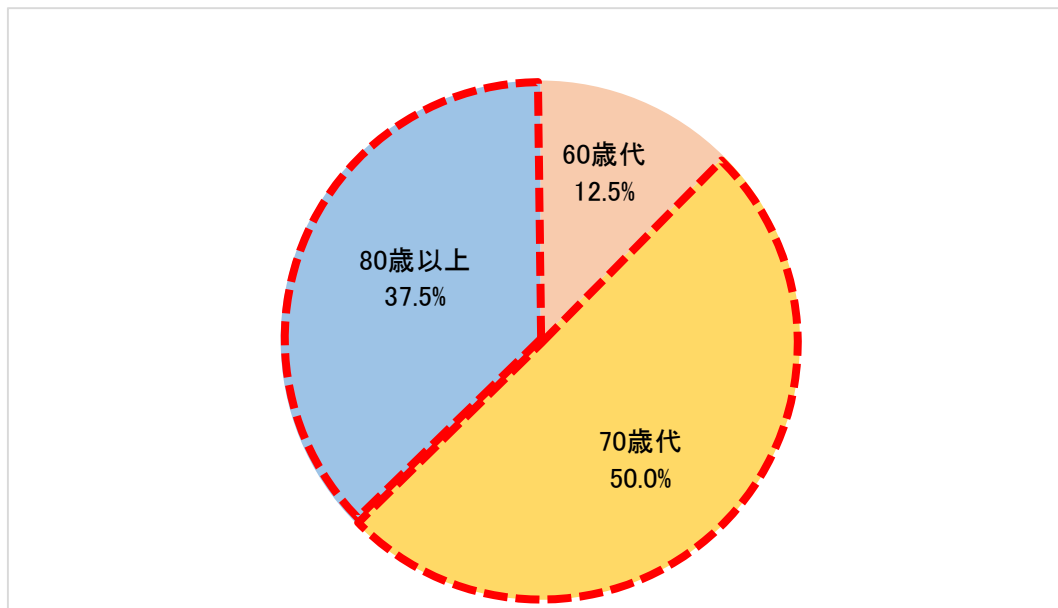


図 年齢（単数回答 N=16）

【まとめ】

- ・アンケート結果から、池尻線については、概ね東布施・田家地区の 60 歳以上の方がメルシーでの買い物に多く利用しています。
- ・また、池尻線を利用しない場合の、代替移動手段については、タクシーが圧倒的に多く、このことから、池尻線は移動手段を持たない東布施・田家地区の高齢者にとっては、大切な“生活路線”であることが伺えます。
- ・その一方で沿線人口の減少や高齢化も進んでいることから、路線の維持を前提しつつも、利用実績に即した定期的な見直しが必要と考えられます。



図 池尻線 路線図

c-1 乗車バス停・降車バス停（単数回答）

- _____

乗車バス停	降車バス停	移動率
宇奈月市民サービスセンター	大阪屋ショッピング	5.3%
愛本橋	大阪屋ショッピング	5.3%
愛本駅	大阪屋ショッピング	5.3%
愛本姫社	大阪屋ショッピング	5.3%
此川運輸前	大阪屋ショッピング	5.3%
下立まちおこしセンター	大阪屋ショッピング	5.3%
東屋前	大阪屋ショッピング	5.3%
下立第五区集会所	大阪屋ショッピング	5.3%
ふらっと	大阪屋ショッピング	5.3%
石坂医院	大阪屋ショッピング	5.3%
浦山分団屯所前	大阪屋ショッピング	5.3%
市営住宅	大阪屋ショッピング	5.3%
イラッセ	大阪屋ショッピング	5.3%
下村公民館	大阪屋ショッピング	5.3%
防火水槽前	大阪屋ショッピング	5.3%
ポンプ格納庫前	大阪屋ショッピング	5.3%
大橋公民館	大阪屋ショッピング	5.3%
栃屋駅	大阪屋ショッピング	5.3%
ちどりのき台	大阪屋ショッピング	5.3%
松葉ノ木川交差点	大阪屋ショッピング	5.3%
十三区	大阪屋ショッピング	5.3%
熊野	大阪屋ショッピング	5.3%
熊野ポンプ格納庫前	大阪屋ショッピング	5.3%
十二区公民館	大阪屋ショッピング	5.3%
熊野交差点	大阪屋ショッピング	5.3%
両瀬公民館	大阪屋ショッピング	5.3%
中坪公民館	大阪屋ショッピング	5.3%
法福寺前	大阪屋ショッピング	5.3%
千光寺前	大阪屋ショッピング	5.3%
中ノ口公民館口	大阪屋ショッピング	5.3%
栗虫公民館	大阪屋ショッピング	5.3%

c-2 出発地・目的地（単数回答）

- ・出発地は自宅が最も多く、44.4%を占めています。
- ・目的地は大阪屋ショップ等の買い物施設が最も多くなっており、その他では医療機関等がみられます。

表 出発地・目的地（単数回答 N=18）

		目的地								
		自宅	大阪屋ショップ S東部等	石坂 大阪屋、コメリ	前田 歯科クリニック	石坂 医院	愛本 新下区公民館	生涯 学習文化スクエア ぶらっと	黒部 宇奈月温泉駅→東京	無 回答
出発地	自宅	5.6%	11.1%	5.6%	5.6%			5.6%	5.6%	5.6%
	愛本新下区公民館						5.6%			
	若狹ふれあいセンター		5.6%							
	前田クリニック	5.6%								
	グリーンタウン→公民館		5.6%							
	コミュニティバス停		5.6%							
	無回答	5.6%	5.6%		5.6%	5.6%				5.6%
	計	16.7%	33.3%	5.6%	11.1%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	11.1%
	計									

c-3 帰りの利用（複数回答）

- ・帰りのバスの利用状況では、「帰りも同じバス停を利用した（88.9%）」がほとんどを占めています。

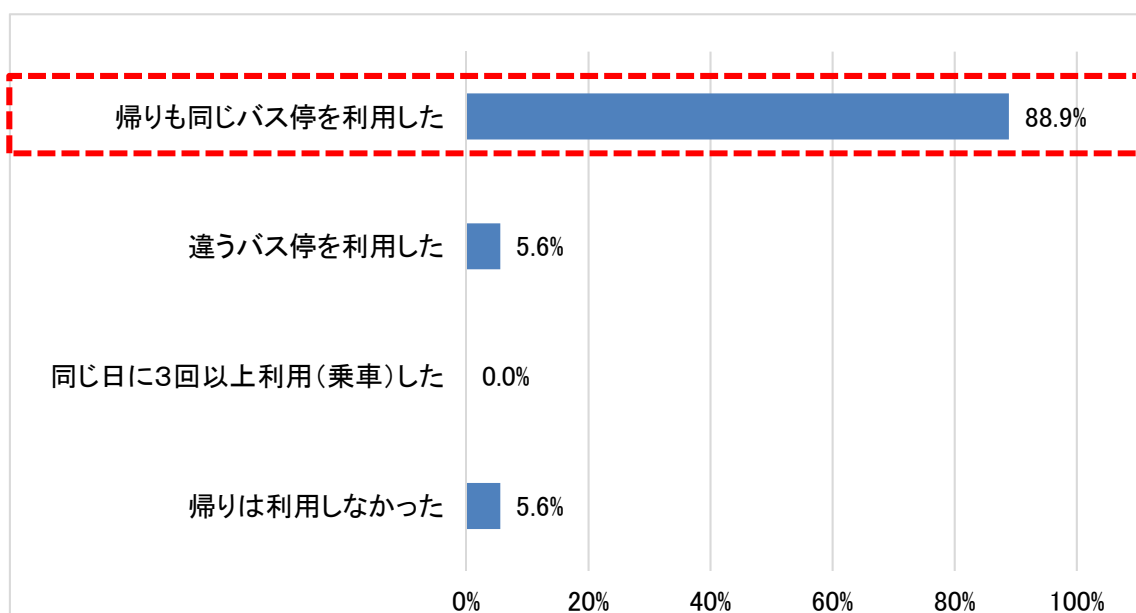


図 帰りの利用（複数回答 N=18）

c-4 利用目的（複数回答）

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）（83.3%）」が最も多く、その後に「通院・通所（55.6%）」が続きます。

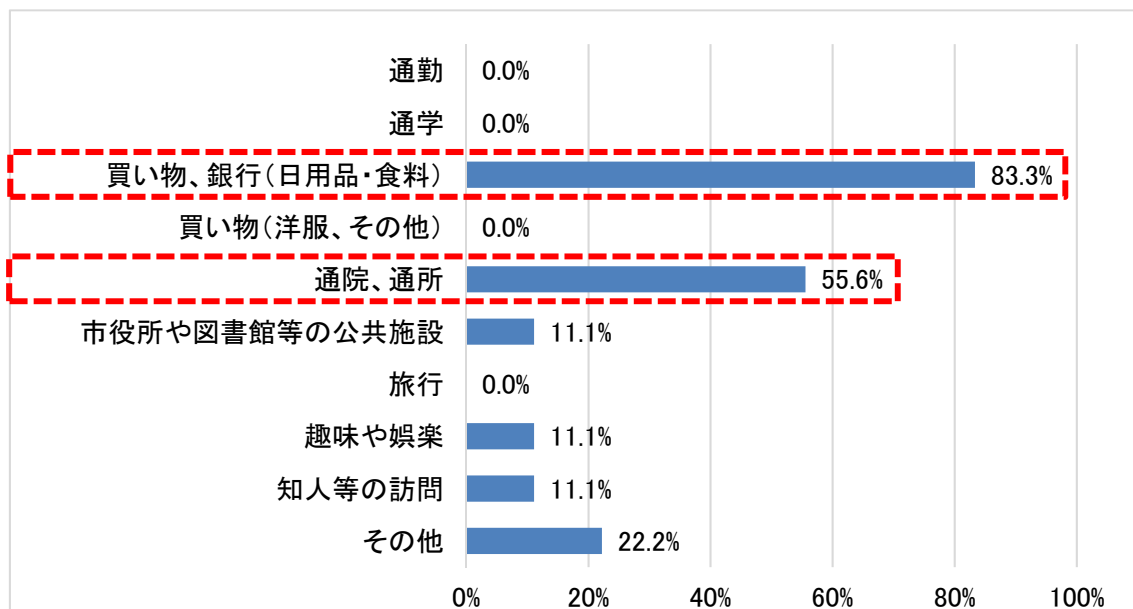


図 利用目的（複数回答 N=18）

c-5 利用目的別（買い物、銀行(日用品・食料)、通院・通所)の降車バス停

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）」が目的の場合は「大阪屋ショッピング」での降車が最も多く、「通院、通所」が目的の場合は「大阪屋ショッピング」、「石坂医院」での降車が他のバス停に比べて多くなっています。

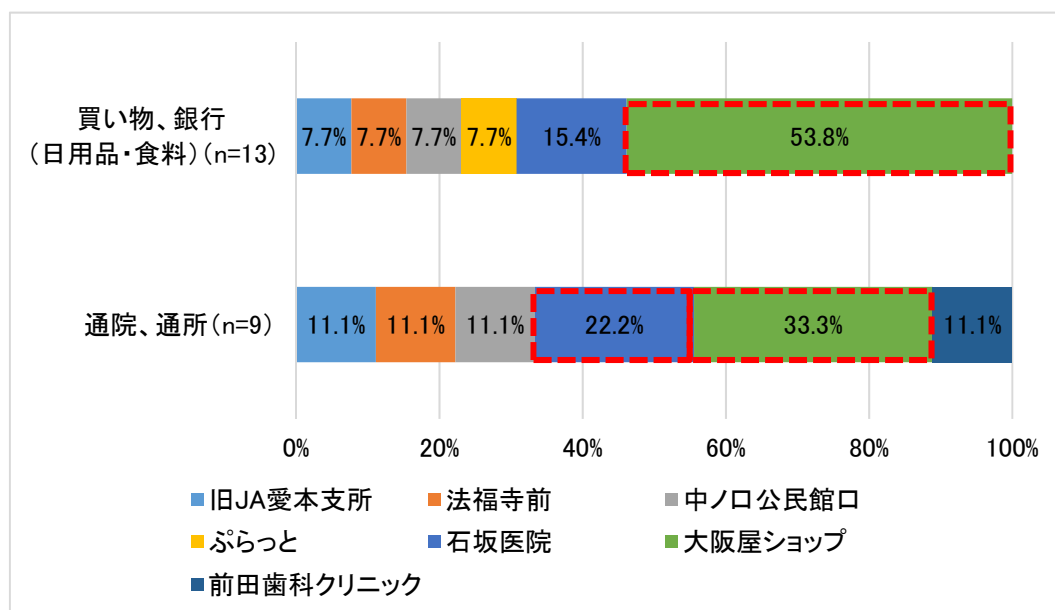


図 利用目的別の降車バス停

c-6 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答）

- ・「タクシー（38.9%）」、「富山地鉄電車（38.9%）」が最も多く、その後に「徒歩（27.8%）」が続きます。

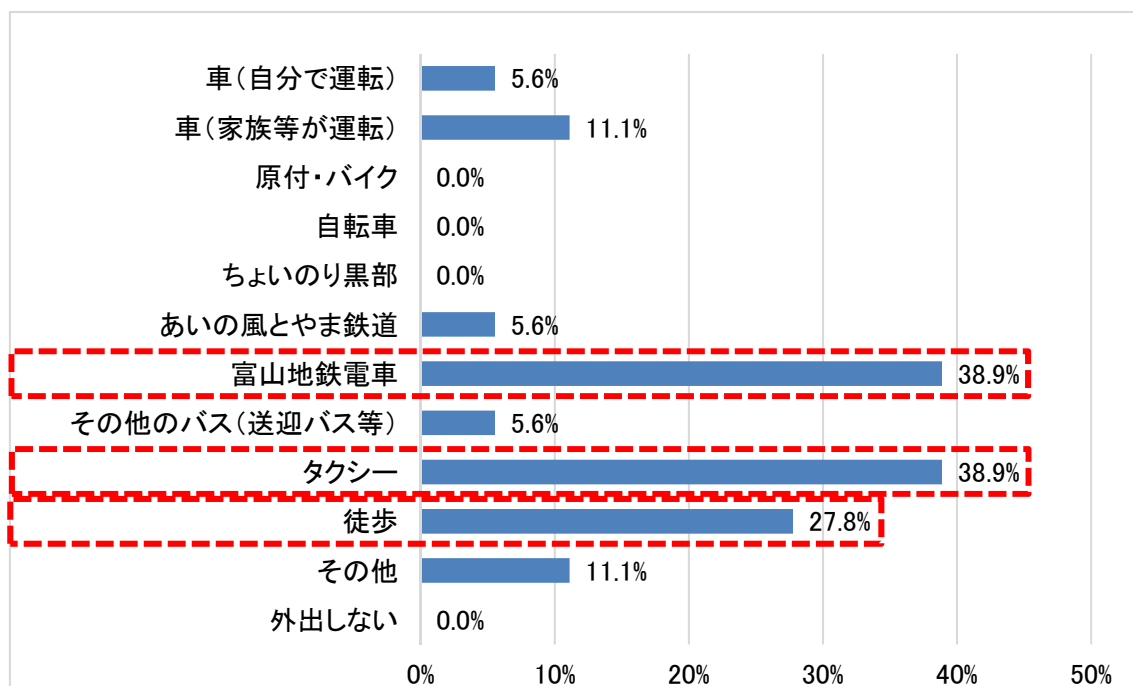


図 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答 N=18）

c-7 性別（単数回答）

- ・性別では「女性（72.2%）」が「男性（16.7%）」に比べ多くなっています。

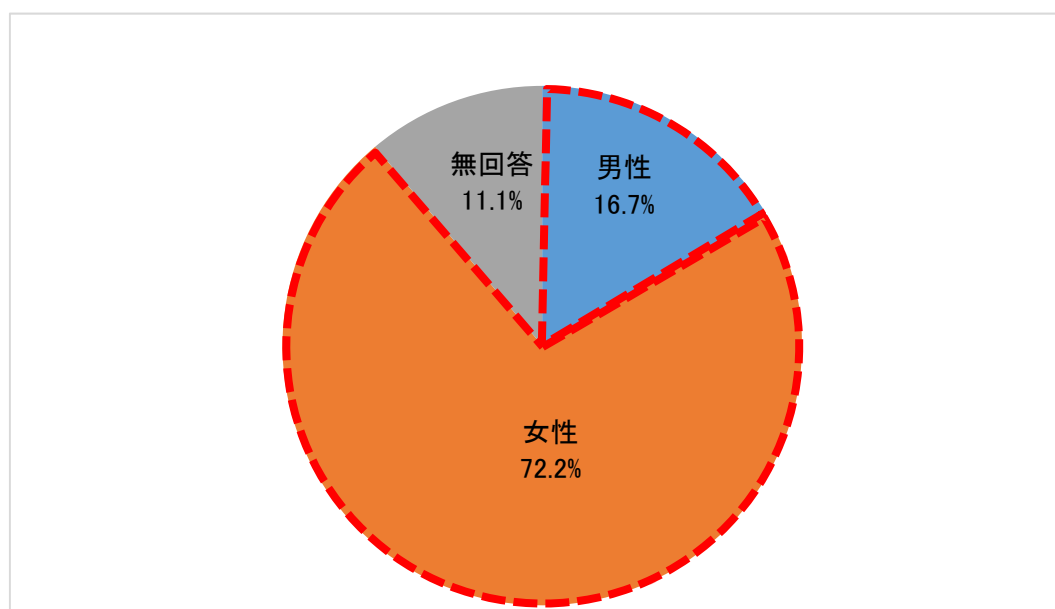


図 性別（単数回答 N=18）

c-8 年齢（単数回答）

- ・「80 歳以上（83.3%）」が最も多く、その後に「70 歳代（16.7%）」が続きます。
- ・なお、回答者全員が 70 歳以上となっています。

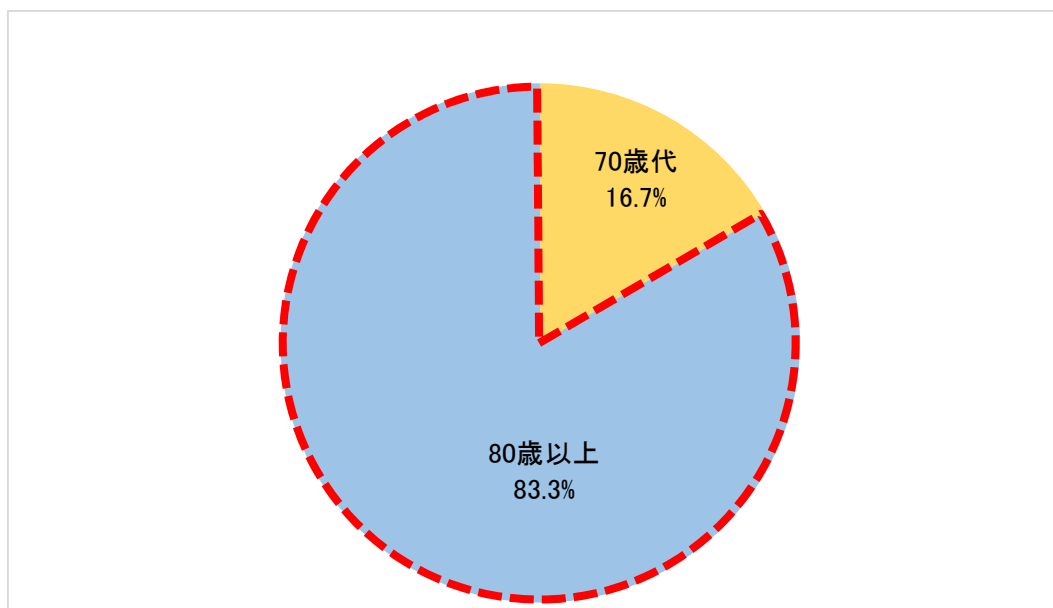


図 年齢（単数回答 N=18）

【まとめ】

- ・アンケート結果から、愛本コミュニティタクシーについては、大阪屋での買い物に多く利用されていますが、乗降バス停に大きな偏りが見受けられ、今後は、利用実績を踏まえた上でバス停の統廃合を検討する必要があります。
- ・その一方で、利用者の年齢層が 70 歳以上であることから、バス停ごとと区間やバス停までの移動距離を踏まえた検討も必要となっています。
- ・また、愛本コミュニティタクシーを利用しない場合の、代替移動手段については、地鉄電車とタクシーが圧倒的に多くなっています。

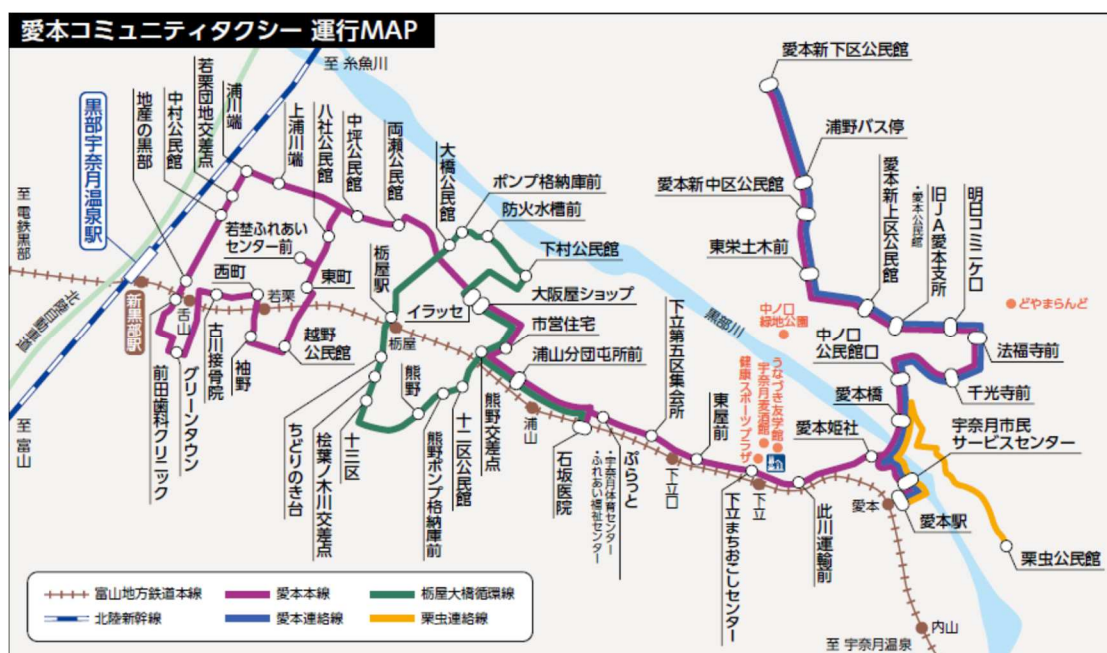


図 愛本コミュニティタクシー 路線図

d-1 乗車エリア・降車エリア（単数回答）

- 多くみられます。

降車エリア

乗車エリア[illegible]

「前沢」から「三日市エリア」への移動
(27.3%)

「三日市エリア」での降車
(63.6%)

「前沢」での乗車
(36.4%)

・田家野—中山エリア及び前沢—宮野エリアを結ぶ“生活路線”とし

-

d-2 出発地・目的地（単数回答）

- ・出発地は無回答を除くと全て自宅となっています。
- ・目的地は医療機関や市役所の他、買い物施設がみられます。

表 出発地・目的地（単数回答 N=14）

		目的地				
		自宅	メルシー	病院	市役所	無回答
出発地	自宅からの移動 (92.9%)					
	自宅	7.1%	7.1%	21.4%	21.4%	35.7%
	無回答					7.1%
	計	7.1%	7.1%	21.4%	21.4%	42.9%
						100.0%

メルシーへの移動(7.1%)
医療機関への移動(21.4%)
市役所(21.4%)

d-3 帰りの利用（複数回答）

- ・帰りのバスの利用状況では、「帰りも同じバス停を利用した（71.4%）」が大部分を占めている一方で、「帰りは利用しなかった（21.4%）」も若干みられます。

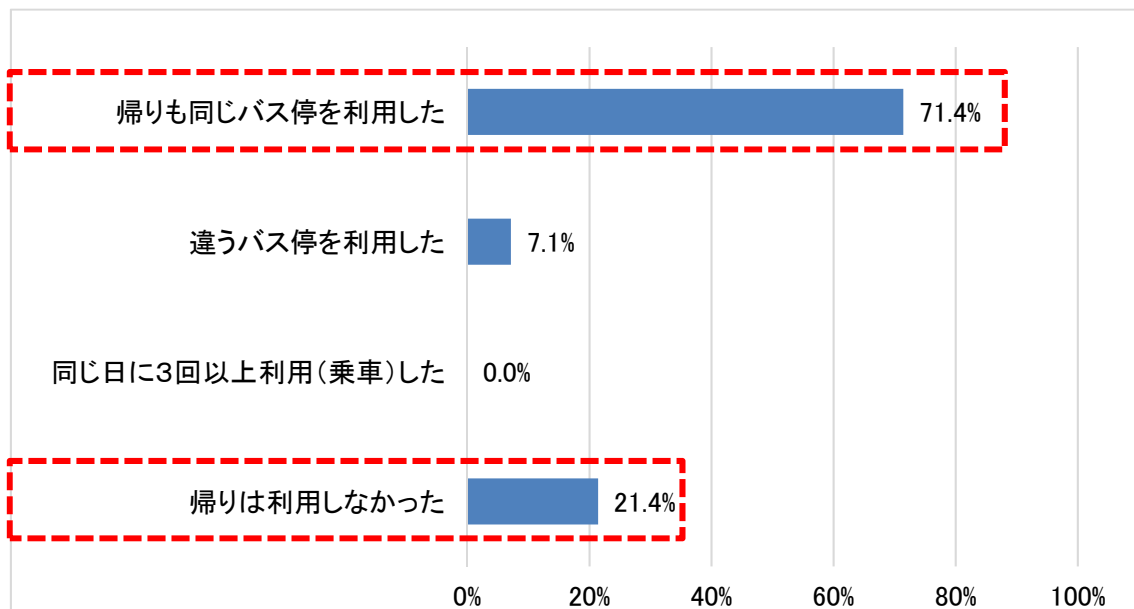


図 帰りの利用（複数回答 N=14）

d-4 利用目的（複数回答）

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）（78.6%）」が最も多く、その後に「市役所や図書館等の公共施設（64.3%）」、「通院・通所（57.1%）」、「買い物（洋服、その他）（35.7%）」が続きます。

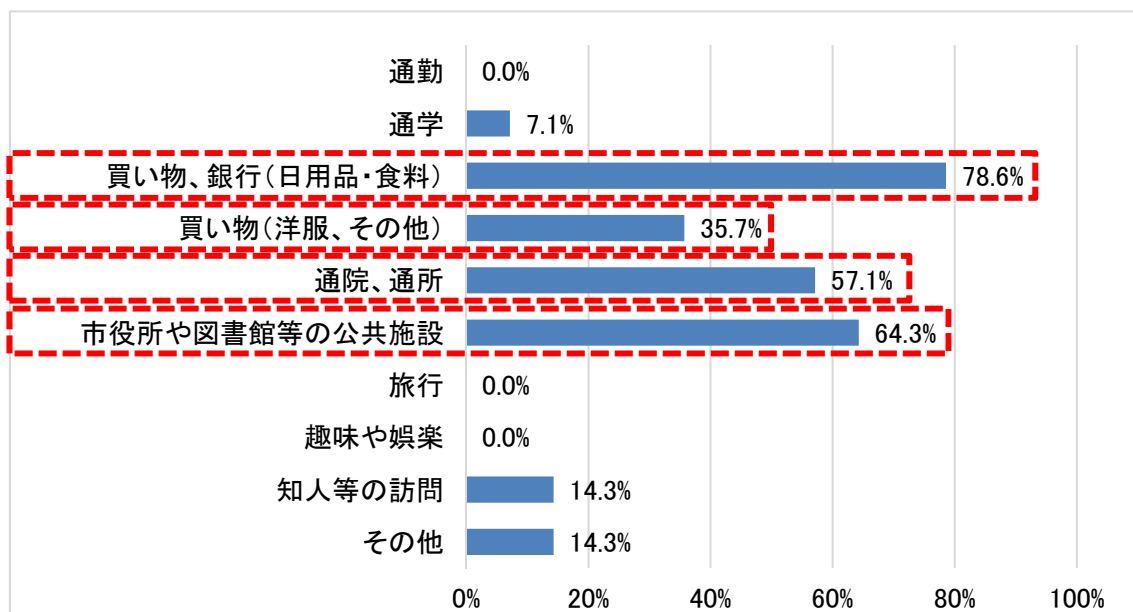


図 利用目的（複数回答 N=14）

d-5 利用目的別（買い物、銀行(日用品・食料)、通院、通所)の降車エリア

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）」、「通院、通所」どちらの目的でも「三日市エリア」での降車が最も多くなっています。

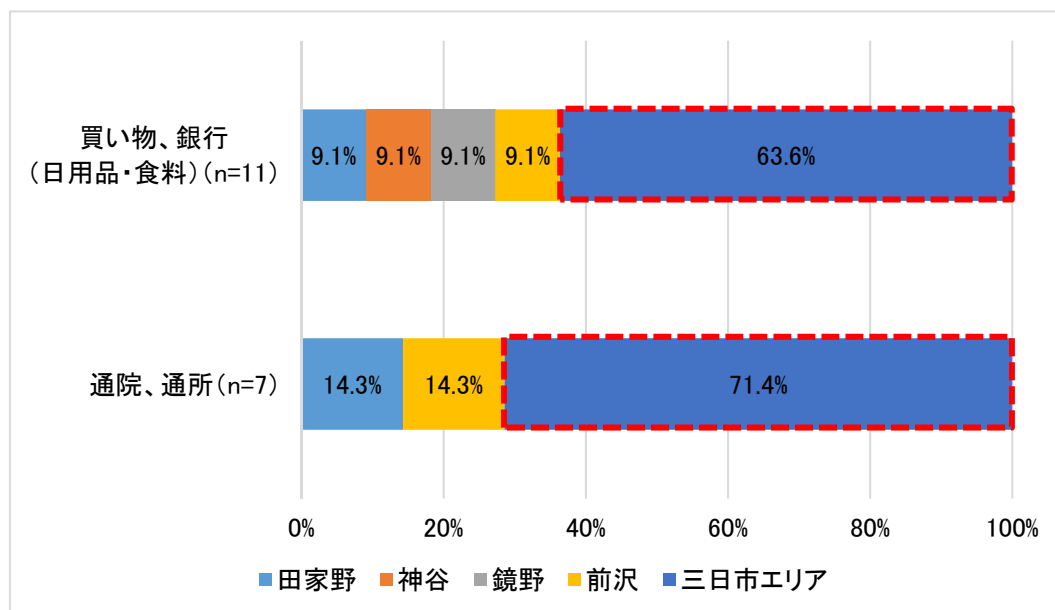


図 利用目的別の降車エリア

d-6 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答）

・「タクシー（71.4%）」が最も多く、その後に「車（家族等が運転）（35.7%）」が続きます。

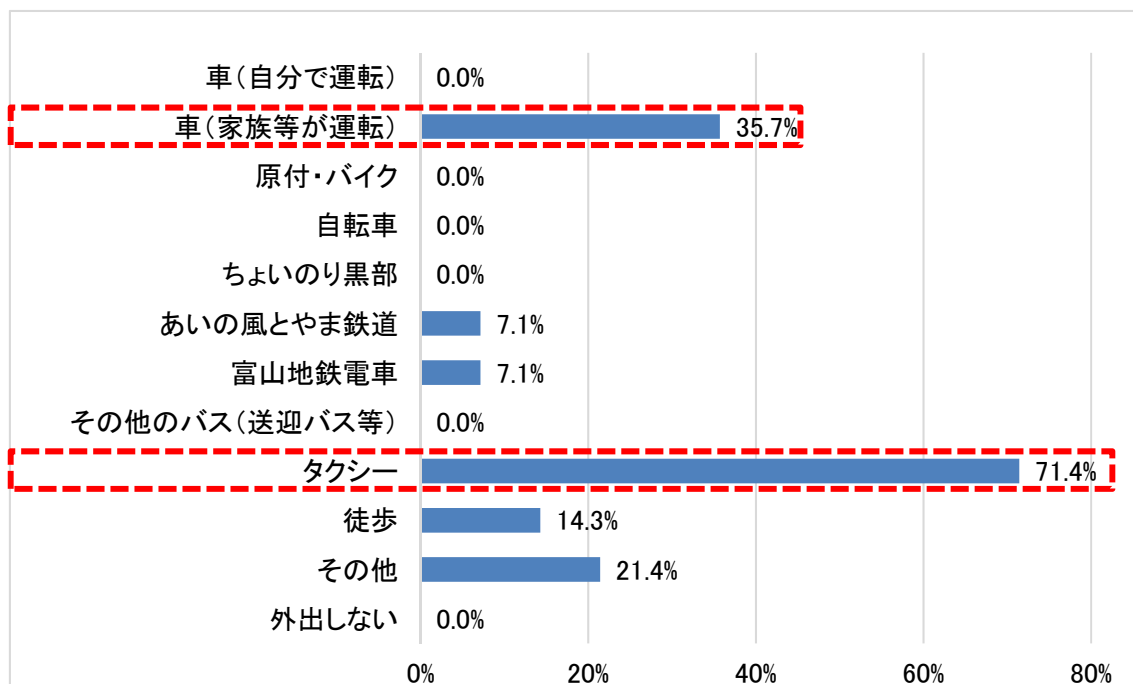


図 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答 N=14）

d-7 性別（単数回答）

・性別では「女性（57.1%）」が「男性（14.3%）」に比べ多くなっています。

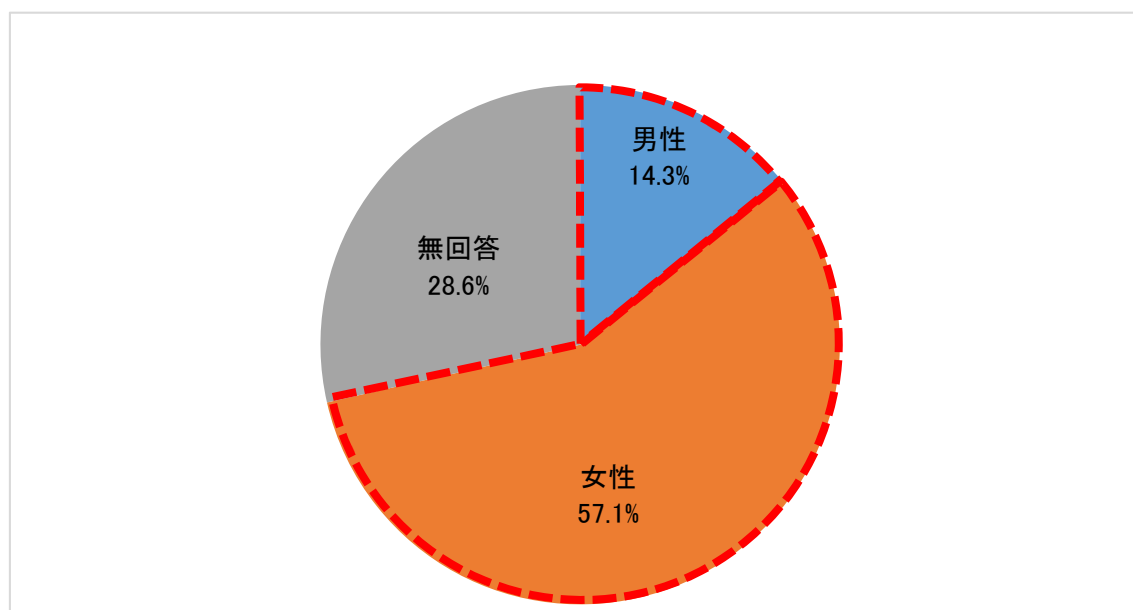


図 性別（単数回答 N=14）

d-8 年齢（単数回答）

- ・「80 歳以上（71.4%）」が最も多く、その後に「70 歳代（28.6%）」が続きます。
- ・なお、回答者全員が 70 歳以上となっています。

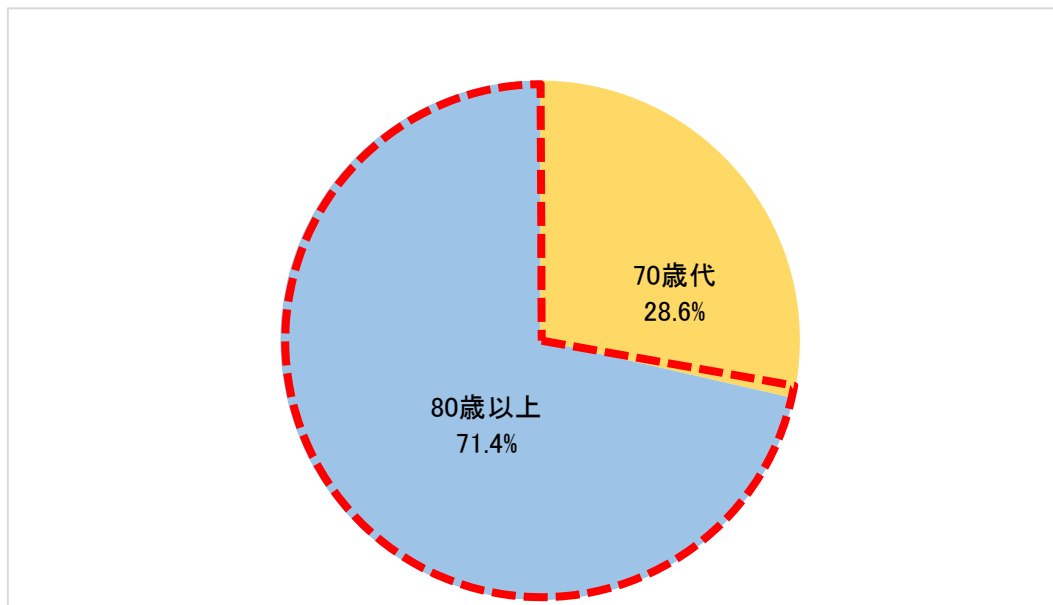


図 年齢（単数回答 N=14）

【まとめ】

- ・アンケート結果から、デマンドタクシー（田家野-中山・前沢-宮野エリア）については、概ね 70 歳以上の方が三日市での買い物や通院に利用しており、アンケート回答数が少ないものの、利用者にとっては、無くてはならない大切な“生活路線”となっています。
- ・また、デマンドタクシーを利用しない場合の移動手段については、タクシーと家族の送迎が圧倒的に多くなっています。



図 デマンドタクシー（田家野-中山・前沢-宮野エリア） 運行エリア図

e-1 乗車エリア・降車エリア（単数回答）

- ・最も多い乗車エリアは「荒俣 (28.6%)」となり、その後に「沓掛 (21.4%)」、「寺坪 (14.3%)」が続きます。
- ・最も多い降車エリアは、「三日市エリア (64.3%)」となり、その後に「マックスバリュ黒部カラーレ前店 (28.6%)」が続きます。また、「三日市エリア」へは特に「荒俣」、「沓掛」からの移動が多くみられます。

[illegible]

参考) デマンドタクシー (村椿・大布施・荻生エリア) の位置づけ

- ・村椿-大布施・荻生エリアを結ぶ“生活路線”として、予約式乗合タクシー「デマンドタクシー」を運行しています。

e-2 出発地・目的地（単数回答）

- ・出発地は自宅が最も多く、85.7%を占めています。
- ・目的地はメルシーやマクスバリュなどの買い物施設の他、医療施設が最も多くなっており、その他では市役所や医療機関等がみられます

表 出発地・目的地（単数回答 N=14）

		目的地									
		自宅	メルシー	カメラのドン、メルシー、ウエルシア	大阪屋メルシー店、岩田クリニック、黒部市民病院	病院、医院、スーパー	マックスバリュ黒部コラーレ店前	市民病院、市役所等	美容院	無回答	計
買い物施設への移動 (49.8%)											
自宅からの移動 (85.7%)											
出発地	自宅		7.1%	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	21.4%	7.1%	14.3%	85.7%
	黒部笑福学園		7.1%								7.1%
	黒部市、メルシー	7.1%									7.1%
	無回答										
	計	7.1%	14.3%	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	21.4%	7.1%	14.3%	100.0%

e-3 帰りの利用（複数回答）

- ・帰りのバスの利用状況では、「帰りも同じバス停を利用した（64.3%）」が半数以上を占めています。

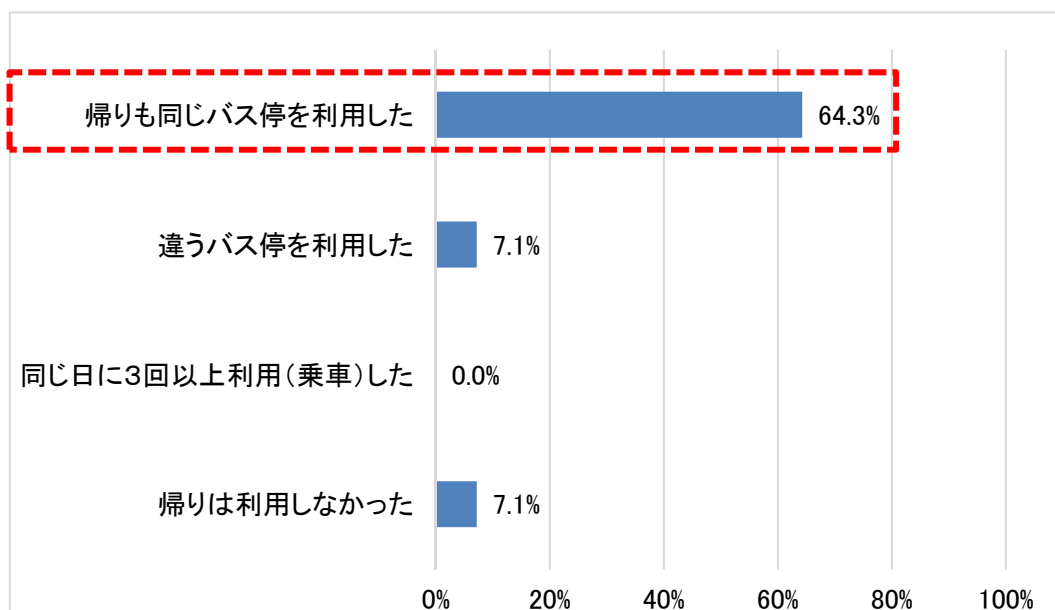


図 帰りの利用（複数回答 N=14）

e-4 利用目的（複数回答）

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）（71.4%）」が最も多く、その後に「通院・通所（42.9%）」、「市役所や図書館等の公共施設（28.6%）」、「買い物（洋服、その他）（21.4%）」が続きます。

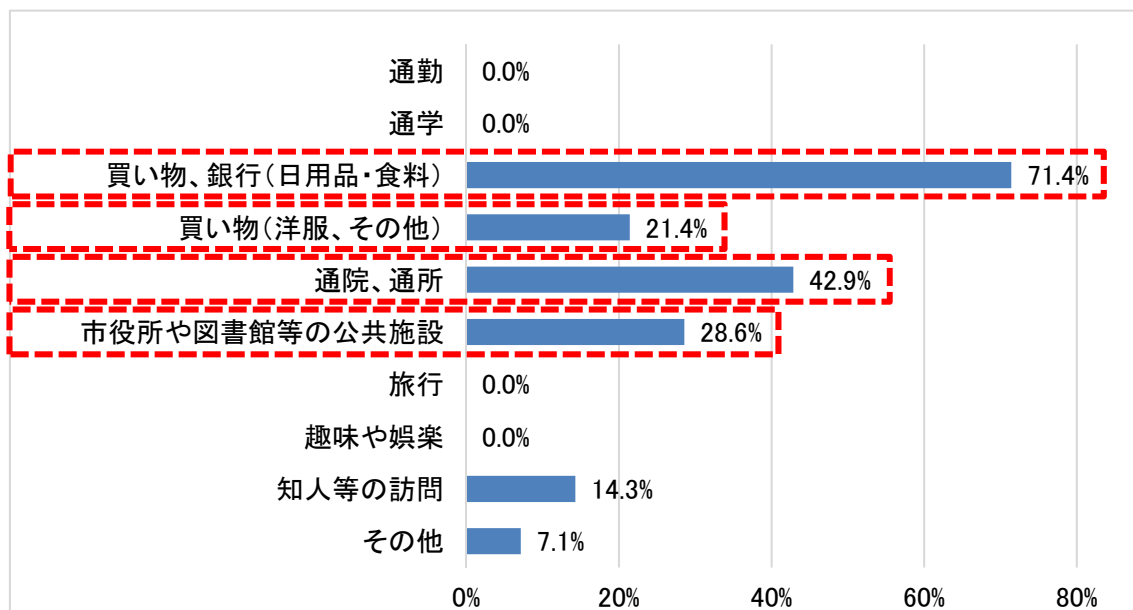


図 利用目的（複数回答 N=14）

e-5 利用目的別（買い物、銀行（日用品・食料）、通院、通所）の降車エリア

- ・「買い物、銀行（日用品・食料）」、「通院、通所」どちらの目的でも「三日市エリア」での降車が最も多く、他は全て「マックスバリュ黒部コラーレ前店」での降車となっています。

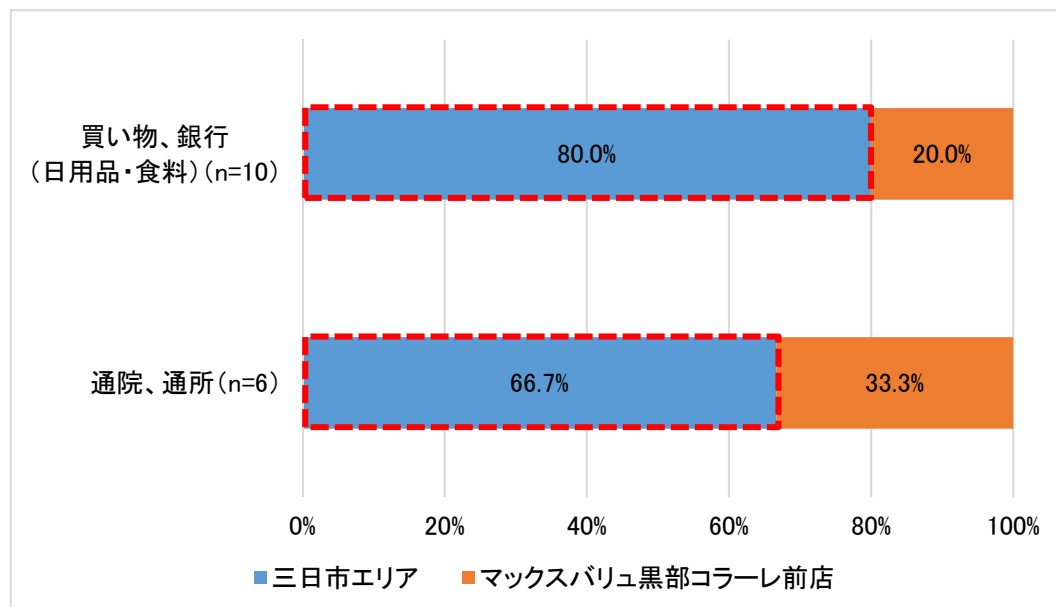


図 利用目的別の降車エリア

e-6 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答）

- ・「タクシー（64.3%）」が最も多く、その後に「その他のバス（送迎バス等）35.7%」「車（家族等が運転）（28.6%）」が続きます。

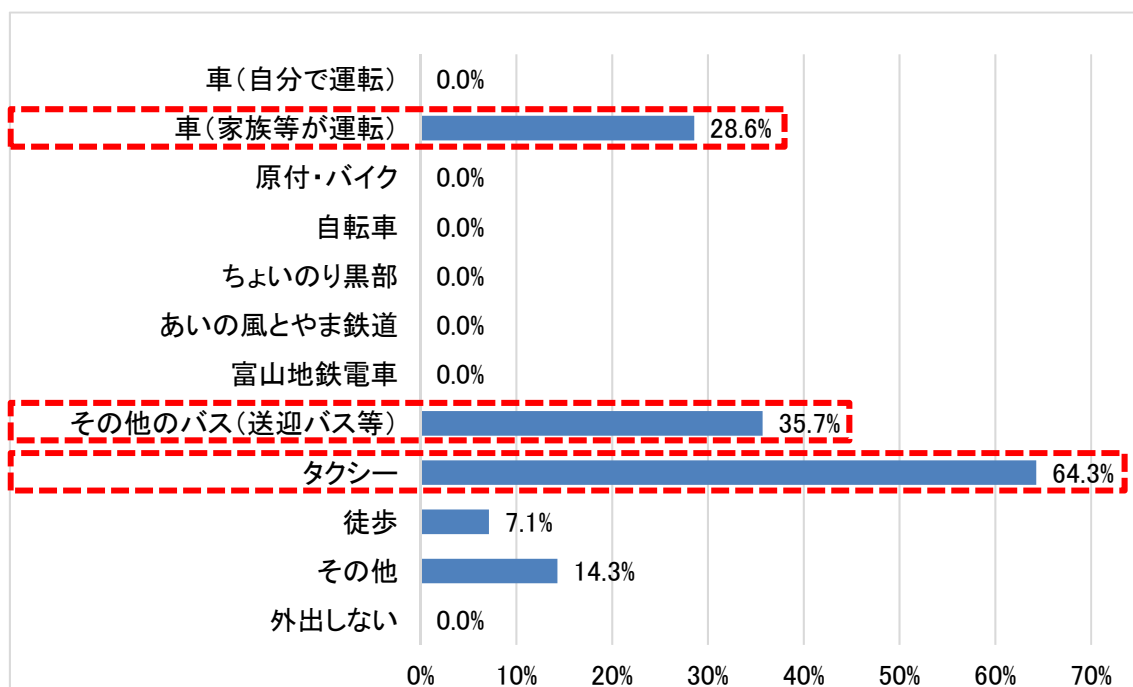


図 バスを利用しない場合の代替移動手段（複数回答 N=14）

e-7 性別（単数回答）

- ・性別では「男性（42.9%）」が「女性（28.6%）」に比べ多くなっています。

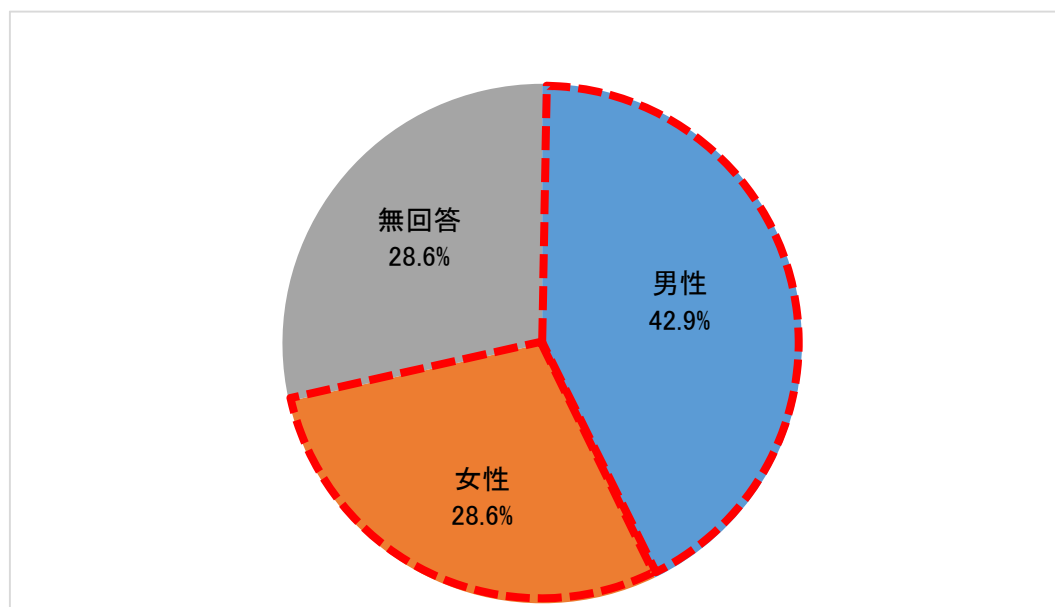


図 性別（単数回答 N=14）

e-8 年齢（単数回答）

- ・「80 歳以上（71.4%）」が最も多く、その後に「70 歳代（14.3%）」、「60 歳代（7.4%）」が続きます。
- ・なお、無回答を除く回答者全員が 60 歳以上となっています。

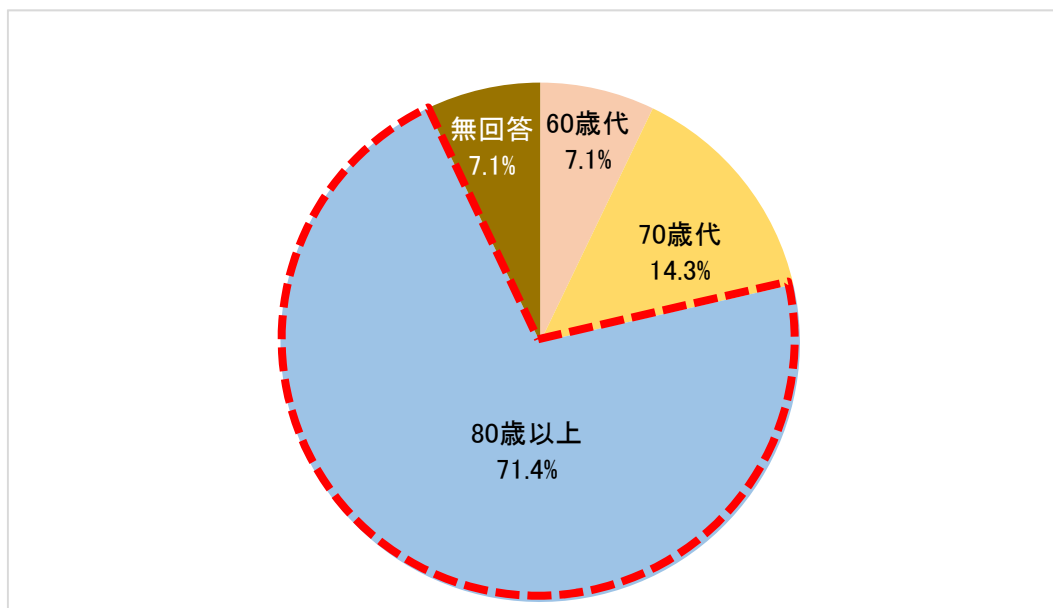


図 年齢（単数回答 N=14）

【まとめ】

- ・アンケート結果から、デマンドタクシー（村椿-大布施・荻生エリア）については、概ね 60 歳以上の方が三日市での買い物や通院に利用しており、アンケート回答数が少ないものの、利用者にとっては、無くてはならない大切な“生活路線”となっています。
- ・また、デマンドタクシーを利用しない場合の移動手段については、タクシーと家族の送迎のほか、デマンドタクシーの区域内で運行する路線バスの利用も多く、デマンドタクシーと路線バスが共存している状況も伺えます。

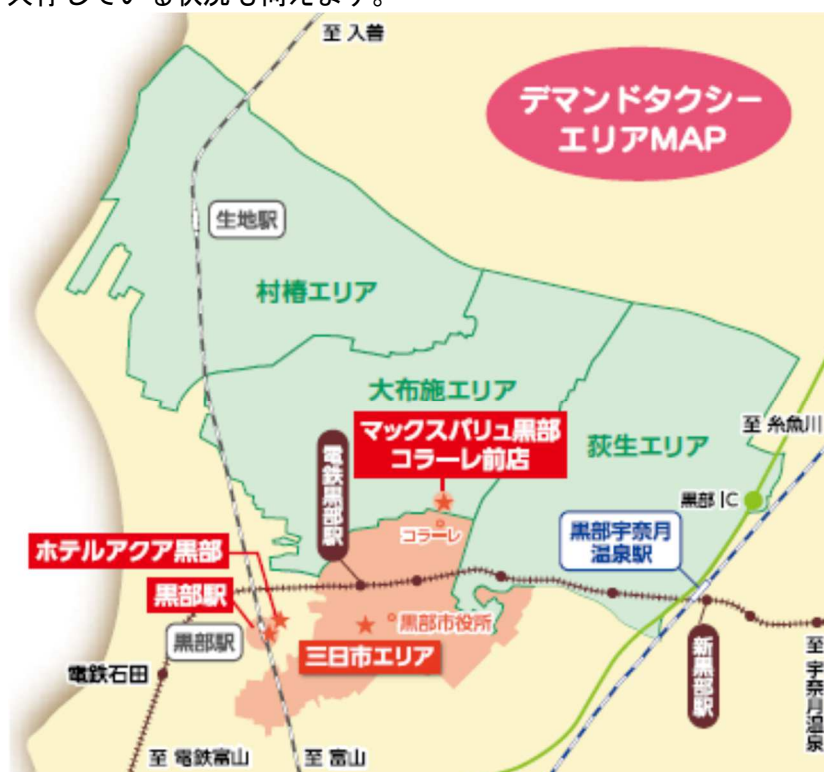


図 デマンドタクシー（村椿-大布施・荻生エリア） 運行エリア図